

平成28年度 一般採用試験前期

公 民（倫理、政治・経済）試験問題（8頁中の1）

（人文・社会科学専攻）

（注意） 解答はすべて別紙解答用紙の定められた欄または枠内に記入すること。正しく記入していない場合には採点されないので注意すること。

- 1 次の文章の空欄(①)～(⑧)に最も適切な語句を記入し、問1に答えよ。ただし、同一番号には同じ言葉が入る。

信州松代藩士であった(①)は、アヘン戦争で清を下したイギリスが次に日本を侵略するのではないかという危機感を抱き、当時幕府の海防掛であった藩主に「海防八策」を上書した。(①)はそのなかで、西洋流の軍艦を建造し、海軍を育成することが急務であると主張した。彼は自身の門下生で松下村塾を主宰した(②)の密航事件に連座し、獄に繋がれたが、出獄したのち、獄中における感慨を記した『省讐録』において、「東洋の道徳と、西洋の芸術と、精粗遺さず、表裏兼ね該ね」と述べている。これは東洋の道徳に立脚しつつ、西洋の科学技術を積極的に取り入れ活用すべきだという(③)の立場を示していると解釈されることが多い。肥後熊本藩士で幕末の開明的知識人として知られる横井小楠が「堯舜孔子の道を明らかにし、西洋器械の術を尽く」せば「大義を四海に布く」ことができると述べているのも、同じく(③)の考え方を示すものとされる。こうした(③)という態度については、とくに以下でも触れる明治啓蒙思想と比較して、それが西洋文化の軍事や科学技術の側面だけに注目して、西洋文化を思想・道徳も含めた全体として捉えていないという一面性がしばしば問題視される。しかし、(①)や横井の考えは、西洋列強が強大な軍事力を背景にアジア諸国に威圧的、侵略的態度を取っていることを非道義的であると非難する立場から、それを越える理想として東洋の道徳を提示していることにも留意すべきである。

1873年（明治6年）、森有礼のよびかけで(④)が結成されたが、そこには西村茂樹、津田真道、加藤弘之など、(①)のかつての門弟も参加していた。彼ら明治の啓蒙思想家たちは西洋の自然権思想を、朱子学の性即理の思想を下敷きにして理解し、人間は生まれながらにして平等であり、自由を追求する権利をもつという(⑤)を唱えた。この考え方を豊前中津藩出身の(⑥)は『學問のすゝめ』において、「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云へり」といった形で表現した。

明治6年は征韓論争をきっかけとする政変が起こり、論争に敗れた西郷隆盛や板垣退助らが下野した年であった。その後、不平士族の反乱が続発し、また自由民権運動も活発になっていく。1877年（明治10年）に起こった西南戦争は不平士族の反乱としては最大のものであった。西南戦争には自由民権論者たちも参加しており、その中には(⑥)の教え子や、ルソーの『社会契約論』を翻訳した『民約訳解』を刊行し、東洋のルソーと称された(⑦)の教え子などが含まれていたが、こうした自由民権論者の中には抵抗権の思想によって明治政府への反逆を正当化しようとした者もいた。1878年（明治11年）、西南戦争終結後の処遇を不満とした近衛兵による反乱、竹橋事件が起こったが、その際に厳格な軍人統制の必要性を痛感した陸軍卿山県有朋

(8頁中の2)

は「軍人訓誡」を配布し、1882年（明治15年）にはその「軍人訓誡」を発展させた「軍人勅諭」が陸海軍人に下賜された。この「軍人訓誡」と「軍人勅諭」の起草において大きな役割を果たしたのが(④)の一員であった(⑧)である。(⑧)は「哲学」「主觀」「客觀」などの翻訳語を創案した人物としても有名である。

問1 下線部(1)に関連して、イギリスの哲学者で『統治論』という書物において、抵抗権・革命権について論じている人物の名前を記しなさい。

- 2 次の文章の空欄の(①)～(⑤)に最も適切な語句を記入し、問1～5に答えよ。ただし、同一番号には同じ言葉が入る。

ほぼ同時期に生じたルネサンスと宗教改革は、ヨーロッパ近代の出発点となった2つの運動とされる。この2つの運動は、その展開において異なってはいるが、ともにヨーロッパ文明の源泉に回帰することによって、中世的世界と対決しようとした点で類似性をもっている。すなわち、ルネサンスは主として古代ギリシア・ローマの文献に、宗教改革は『聖書』に立ち返ることによって、精神と文化の刷新を図ろうとしたのである。

一方のルネサンスは、14～16世紀にかけて、イタリアを中心としヨーロッパ全体に広まった文化的・社会的運動の総称である。元来は「再生」を意味するフランス語だが、ブルクハルトが名著『イタリア・ルネサンスの文化』で用いて以降、広く流布するようになった。ブルクハルトは、ルネサンスには、世俗主義、合理主義、個人主義といった特徴が見られるとしている。

人間をいきいきと描き出したルネサンスの文芸を代表する作品には、ダンテの叙事詩『神曲』や(①)の叙情詩集『カンツォニエーレ』、ボッカチオの小説『デカメロン』などがある。

また、ルネサンスの精神は、美術の世界でも多くの傑作を生み出した。レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」、ミケランジェロの「ダヴィデ像」、(②)の「春」、ラファエロの「アテネの学堂」などが代表作として挙げられよう。

この時代の中世とは異なる新たな人間観をよく示しているのが、『人間の尊厳について』を書いた(③)の考え方である。(③)は、自分のあり方を自分の自由意志によって決めることができる点にこそ、人間の尊厳があると主張している。

他方の宗教改革は、直接には16世紀に起きた西方教会の改革運動を示すが、その先駆的な形態は、教皇の権力を批判し、『聖書』がキリスト教の真理の唯一の源泉であると主張したイギリスのウィクリフ(1330頃～1384)やその影響を受けたボヘミアの(④)(1370頃～1415)の運動に見ることができる。宗教改革によって、中世ヨーロッパの特徴であった宗教におけるローマ・カトリック教会の統一的支配は終わり、西方教会は、ローマ・カトリック教会とプロテスタント教会に分裂することになった。

1517年、ドイツのルターは、金銭で罪を贖おうとする(⑤)を乱発するなどして腐敗したローマ・カトリック教会を批判して、ヴィッテンベルク大学の聖堂の扉に「95か条の論題」を張り出し、宗教改革運動の口火を切った。ルターは、罪の赦しは、(⑤)の購入や善行を積むことで得られるのではなく、ただ神の愛と恩寵によって与えられたとした。人間のなすべきことは、この神の愛と恩寵を一途に信じることであり、そのような信仰によってのみ人間は義とされる。また、信仰のよりどころとなるのは、『聖書』に記された神の言葉のみであると考え、民衆が直接読むことができるよう、『聖書』をドイツ語に翻訳した。さらに、こうした立場から、聖職者の特別な権威を否定して、神を信じる者は誰もが等しく司祭であると考えた。

同じく従来の教会のあり方を批判して、スイスのジュネーヴで改革運動を指導したのが、カルヴァンである。カルヴァンは、神の絶対性を強調し、万物は神の摂理によって導かれていると考えた。それゆえ、誰が救われるかということも、各人の功績や価値とは無関係に神の意志によってあらかじめ決められていると主張した。では、救いの確かさはどうすれば知ることができるだろうか。カルヴァンによれば、すべての職業はこの世で神の栄光を実現するために神から与えられた天職である。禁欲的に与えられた職業に邁進し、成功を収めることができれば、自分は神に

(8頁中の4)

選ばれていますと確信することができる。ここで考えられているのは、禁欲的に職業に邁進したから救われるということではなく、救われているから禁欲的に職業に邁進できるということである。

問1 下線部(1)に関連して、彼がその典型であるような、さまざまな領域で天才的な才能を発揮するルネサンスが理想とした人物像を何と呼ぶか、答えなさい。

問2 下線部(2)に関連して、このような考え方を何と呼ぶか、答えなさい。

問3 下線部(3)に関連して、このような考え方を何と呼ぶか、答えなさい。

問4 下線部(4)に関連して、ルターにも見られたこのような考え方を何と呼ぶか、答えなさい。

問5 下線部(5)に関連して、このような考え方こそが、プロテスタントが多い地域に資本主義を生み出す原因となったと論じたマックス・ウェーバーの著書の書名は何か、答えなさい。

3 以下の文章を読んで、問題に答えなさい。

日本国憲法は、権力分立の原則に立ち、国会、内閣、裁判所の組織を編成し、権限を分配している。それぞれの組織および権限についてポイントを整理しておくことにしよう。

国会は、「a であって、国の唯一の立法機関である」(憲法41条)と位置づけられ、国民民主権の原理に従って、国政上重要な権限が与えられている。国会は、二院制の構造をもち、衆参の国会議員から編成されている。国会議員には、b としての法的な位置づけが与えられており(憲法43条1項)、選出母体の指図に法的に拘束されない。

内閣には、「行政権」(憲法65条)が付与され、また、他の一般行政事務の他、様々な事務を処理することとされる(憲法73条)。内閣を構成する國務大臣を任命する権限を有するのは、c である。

「司法権」は、最高裁判所および下級裁判所に付与されている(憲法76条1項)。最高裁判所の長官は、内閣の指名に基づいて天皇によってd される(憲法6条2項)のに対して、長官以外の最高裁判所裁判官は、e によってd される(憲法79条1項)。

問1 次の語群から適切な語を選んで空欄a ~ e に補充しなさい。

- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| ア. 全体の奉仕者 | イ. 国權の最高機関 | ウ. 日本国民統合の象徴 |
| エ. 全国民の代表 | オ. 内閣 | カ. 内閣総理大臣 |
| ク. 国民 | ケ. 指名 | コ. 任命 |
| | | キ. 天皇 |
| | | サ. 認証 |

問2

(1) 1748年に権力分立の考えを展開したモンテスキューの著書のタイトルを記述しなさい。

(2) 国会の権限ではないものを次の選択肢から一つ選びなさい。

- ① 予算案の提出
- ② 法律の制定
- ③ 内閣総理大臣の指名
- ④ 憲法改正の発議

(3) 二院制について正しい記述を次の選択肢から一つ選びなさい。

- ① 衆議院は、緊急集会を開催することができる。
- ② 衆議院は、予算の先議権を有する。
- ③ 衆議院のみが国政調査権を有する。
- ④ 衆議院は、内閣不信任決議を行うことができない。

(4) 内閣の事務ではないものを次の選択肢から一つ選びなさい。

- ① 政令の制定
- ② 外交関係の処理
- ③ 裁判官の罷免
- ④ 國務の総理

(5) 下級裁判所ではないものを次の選択肢から一つ選びなさい。

- ① 簡易裁判所
- ② 地方裁判所
- ③ 家庭裁判所
- ④ 弹劾裁判所

- 4 次の文章〈A〉および〈B〉を読み、文章全体から総合的に判断して、空欄 [ア] ~ [シ] に入る内容として最も適切なものを選択肢①~⑩から選び、解答欄に選択肢番号を記入しなさい。なお、空欄に入る番号はすべて異なる。

〈A〉

「レッセ・フェール」つまり「[ア]」という意味の言葉があるが、これに類する経済思想を唱えたのが経済学者の[イ]である。

彼は著書『[ウ]』の中で、彼が「[エ]」と呼ぶ経済の調整メカニズムについて論じたことで有名である。また、彼はこの本の中でピン工場の例を挙げ、[オ]によって生産力が飛躍的に向上することを指摘した。

彼を始祖とする経済理論は「[カ]」と呼ばれた。

政府の役割に関して、彼の思想と軌を一にする「[キ]」と呼ばれる考え方がある。これに類する政策が現実に行われた例としては、「[ク]」などが挙げられる。

〈B〉

『[ケ]』を書いた経済学者[コ]は、企業家が新しい組織・技術・生産方法などを開発することを「[サ]」と呼び、これが原因で長期波動の[シ]が起こると考えた。

- | | | |
|-------------------|--------------|-------------|
| ① クラウディング・アウト | ② 共産主義 | ③ 小さな政府 |
| ④ ニューディール政策 | ⑤ 景気循環（景気変動） | ⑥ シンペーター |
| ⑦ 見えざる手 | ⑧ 有効需要の原理 | ⑨ マルクス |
| ⑩ 雇用・利子および貨幣の一般理論 | | ⑪ 経済発展の理論 |
| ⑫ 計画経済 | ⑬ アダム・スミス | ⑭ 社会民主主義 |
| ⑮ 完全雇用 | ⑯ 分業 | ⑰ レーガノミックス |
| ⑲ 労働価値説 | ⑯ 公共投資 | ⑳ イノベーション |
| ㉑ 科学的社会主義 | ㉒ 国富論（諸国民の富） | ㉓ ケインズ |
| ㉔ 古典派経済学 | ㉕ 自由放任 | ㉖ スタグフレーション |
| ㉗ 資本論 | ㉘ 世界恐慌 | ㉙ 大きな政府 |
| ㉚ リカード | | |

5 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

第2次世界大戦後、ヨーロッパで [ア] が本格化し、世界が米ソいずれかの陣営に分裂する中、いずれにも属さず第三世界諸国が結束して自立性を確保しようとする動きが見られた。

インドの [①] 首相、中国の [②] 首相らが中心となり、1955年4月にインドネシアで [イ] 会議が開かれ、計29カ国が参加し、平和共存、反植民地主義などを盛り込んだ [ウ] が採択された。しかし、国際情勢の変化や第三世界諸国の政治変動によりその後は開かれていらない。[イ] 会議開催後の1961年9月には、インドの [①] 首相やユーゴスラビアの [③] 大統領らが中心となり、ユーゴスラビアで [エ] 会議が開かれた。[エ] 会議は現在まで続いているが、[ア] の終結によりその意義が問われている。

この自立化の志向はその後さまざまな地域機構の創設へと引き継がれた。1967年8月に創設された [オ] は、当初インドネシア、シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピンの5カ国で発足したが、1999年までにさらに [カ] カ国が加わり、政治協調、経済協力などを担う地域共同体として機能している。やがて、[オ] を核に域外諸国との国際体制が作られていくが、1994年7月に第1回会合が開かれたのが [キ] である。安全保障に関する定期的協議の場として、26カ国と1機関が参加する包括的な地域枠組みとなっている。

問1 空欄 [ア] ~ [キ] に当てはまる語句、または名称、数字を書きなさい。ただし同じ文字の空欄には同じ語句、または名称、数字が入る。

問2 空欄 [①] ~ [③] に当てはまる人物名をそれぞれa~cの中から選び、記号を答えなさい。

- | | | |
|----------|--------|-------|
| ① a シン | b ガンジー | c ネルー |
| ② a 周恩来 | b 毛沢東 | c 劉少奇 |
| ③ a スカルノ | b ナジル | c チト一 |

- 6 問1 次の文章を読んで、空欄①～⑩に最も適切な語句を記入しなさい。
ただし、同じ番号の空欄には同じ語句が入る。

現代の国際社会は対等な主権国家間の関係を基礎としているが、その起源はドイツの宗教戦争（三十年戦争）を終わらせるために1648年に開催された①にあるといわれる。さらにこの時期、主権国家間の関係を規律する国際法も誕生した。17世紀を代表する法学者グロティウスは、自身の著作を通じて国際法の誕生に貢献したのみならず、現代の国際法にも大きな影響を与えたことから、②と呼ばれている。たとえば彼は1609年に著作『海洋自由論』で海の自由を説いたが、これはどの国の主権も及ばない水域である今日の③の制度に通じている。また、三十年戦争の時代を背景として1625年に戦争の規制を論じた彼の著作『④』の思想も、戦争の違法化と国際紛争の平和的解決を実現するために設立された国際連盟や国際連合に受け継がれている。

国際連合は、総会、安全保障理事会、経済社会理事会、信託統治理事会、⑤、事務局といった6つの主要機関を中心に構成される。事務局の長は⑥と呼ばれる。また、⑤は、国連加盟国が戦争や武力以外の手段で紛争を平和的に解決する上で重要な役割を果たしており、グロティウスの生まれた国であるオランダのハーグに位置している。加盟国が違法な武力に訴えた場合、安全保障理事会はこれを止めさせるために軍事的な強制措置をとる勧告または決定を行うことができる。しかし、このうち決定については安全保障理事会の常任理事国5カ国すべての賛成が必要となり、この中の1カ国でも反対すれば強制措置のための拘束力ある決定はできなくなる。この常任理事国に認められた特権を⑦という。国連の軍事的強制措置は本来、国連憲章に定められた正規の手続で編成される⑧によって行われることが予定されていたが、いまだ⑧が実現したことはない。代わりに国連の軍事的強制措置を主として担ってきたのは、1990～1991年の湾岸危機・湾岸戦争で注目を集めたような、複数の加盟国からなる⑨であった。⑨は、安全保障理事会の許可を得た後、国連の指揮下に置かれることなく独立して行動する点で⑧と異なる。さらに、武力を用いて一方的な制裁を行う軍事的強制措置とは別に、公平・中立の立場から加盟国の紛争地域内の治安維持や停戦監視等を行うために編成される国連部隊を⑩という。

- 問2 国連安全保障理事会の常任理事国5カ国をすべて答えなさい。